

令和6年度・西伊豆町子育て支援センター “たんぽぽ通信” 2月号



暦の上では立春を迎えますが、まだまだ寒い日が続いていますね。だいふ日も伸びてきましたが、1年で1番寒い2月。風邪やインフルエンザに気をつけながら、元気に過ごしていきたいですね。

風のない穏やかな日中には、少しの時間外に散歩に出かけるのもおすすめです。太陽の光を浴びることでスムーズな午睡や夜の寝かせつけにつながります。



LINE 公式アカウント
西伊豆町子育て支援センター
「たんぽぽ」

仁科認定こども園・☎0558-52-0583（呼）
0558-52-1110（呼）
伊豆海認定こども園・☎0558-53-0755（呼）
安良里出張ひろば・☎0558-56-0211（教育委員会・呼）



たち♡



お正月の寝相アート



はじめまして
よろしくね！



2月のお知らせ（仁科・田子共通）

- 3日（月）仁科・田子 豆まき
13日（木）仁科 入園説明会
18日（火）田子 避難訓練予定
19日（水）あかちゃんクラブ（田子センター）10:00～
20日（木）田子 入園説明会
25日（火）センター会議のため午後は閉所します
28日（金）仁科 避難訓練予定

園の豆まきに参加させてもらいます。
田子… 9:30～
仁科… 10:15～



2月の土曜日開放日
◎8日・22日 8:30～11:30
仁科支援センターにて



☆西伊豆町内に気象に関する各警報（波浪警報は除く）が発令された場合、センターは1日閉所となります。途中で解除されてもセンターはお休みとなります。

子育てアドバイス⑪

巡回相談員 飯泉 松文

「お母さんは子どもの安全基地」その1

子どもにとって「安全基地」となる関わりをすることで愛着が安定することになります。何かあった時にいつでも守ってくれる、応援してくれる、褒めてくれて安心感を与えてくれる母親（養育者）の存在のことです。

大きな犬がいた時、子どもは咬まれる怖さを感じて母親にしがみついたり、隠れたりして身を守ってあげます。何かに躓いて転んで擦りむいた時、泣いて知らせます。母親は直ぐ駆けつけて「痛かったね。ふいたから大丈夫だよ。」等安心させます。保育参観の時などで「リレー、速かったね。」「〇〇上手に作ったね。」等と応援したり、褒めたりすることで、子どもはうれしさを感じます。また、家庭でも何か作ったり、ピカチュウの絵等を描いたりした物を見せてくれると思います。子どもが関心持ったことに「上手に描けたね。」と認めてあげることで子どもは嬉しさを感じ自信を持つようになります。

また言葉もついてくると親子のコミュニケーションも進みます。園から日々借りていく絵本の読み聞かせは子どもの創造性を育てます。ただ読むだけでなく場面により人物の悲しい、嬉しい等の感情を込めて読んであげることで、読んでもらった嬉しさ、楽しさを感じます。次の日も、また次の日も続きます。

子どもの心にお母さんからもらった嬉しさ、楽しさがたまっていきます。

〇次回3月号「お母さんは子どもの安全基地」その2

「手をつなごう」

赤ちゃんがよちよち歩き始めたら手をつないでお散歩することも楽しいですよ。好奇心旺盛なこの時期は、自由に動けるようにもなって「～したい！」という気持ちにあふれています。2歳前後の子どもは、魅力的な刺激がいっぱいの戸外で自由に遊びたくて、大人のペースや関心に沿って歩くことがイヤで手をつなぎたがらない子もいます。とは言え、この時期特有の衝動性や視野の狭さは、深刻な危険につながる可能性があります。子どもを危険から守るため、「ダメな時はダメ！」とびしっと言う必要があります。言葉がしっかり理解できるようになっていたら、なぜ手をつながなければいけないのか、車や迷子の危険性などについても納得できるように伝えましょう。

子どもと手をつなぐことは安全性を確保するためにも大切なことですが、それだけではありません。お母さんのお腹にいる時はへその緒でつながり、生まれてからは母乳やミルクをあげ抱っこしてといったスキンシップが多くあります。子どもはそれを受け止めて母への愛情を大きくしていきます。卒乳したりおむつが外れたりするとスキンシップは少し減りますが、その代わりに手をつないでお出かけできるようになります。つないだ手から子どもは「大好きだよ」という愛情を受け取っています。親の手から与えられる愛情で、子どもの心は大きく成長します。

そして手をつないで歩くことによって、相手のペースに合わせ、相手を思いやる行動を学んでいきます。子どもの社会性や協調性を育むことにつながり、園生活になじむためにも大切なことです。たくさん手をつないで、思いやりのある子どもに育てたいですね。